
新緑と花々が織りなす日本庭園で、心に響く特別なひとときを
横浜・三溪園 日本の美と文化を堪能する新緑イベント
2025 年 4 月 11 日(金)～

国指定名勝「三溪園」（横浜市中区）は、緑あざやかな新緑の季節に合わせて、日本の伝統植物を楽しめる花の展示会や、豊かな自然を満喫できる遊歩道の開放など、多彩なイベントを開催します。地域の子どもたちによるお囃子や、どなたでも参加できる茶会のほか、俳句展も予定されており、訪れる皆さまに特別なひとときをお届けします。自然に囲まれた空間で花の美しさや力強い新緑の景色を通じて、心と五感を癒す贅沢な時間をお楽しみください。



■さくらそう展

さくらそうは、江戸時代から愛されている日本の古典園芸植物のひとつ。本展では、江戸時代からの色や形をとどめたものや近年の改良により新たに生み出されたものなど、約150鉢を展示します。

日程 | 4 月 11 日(金)～15 日(火)

時間 | 9：00～16：00（最終日は 15：30 迄）

料金 | 無料（入園料別途）

会場 | 外苑 中央広場

共催 | 横浜さくらそう会



■さつき盆栽展

花の色や模様だけでなく、樹形や風格、鉢の組み合わせなど、多彩な魅力を持つさつき盆栽。本展では、見ごたえのある展示に加え、お手入れ方法の相談受付や盆栽の販売をおこないます。さらに、5 月 18 日(日)と 25 日(日)は、先着 50 名様に苗木をプレゼントします。

日程 | 5 月 18 日(日)～25 日(日)

時間 | 9：00～16：30（最終日は 16：00 迄）

料金 | 無料（入園料別途）

会場 | 外苑 中央広場

共催 | 横浜三溪園阜月会



■新緑の遊歩道開放

三溪園を代表する新緑スポットである「聴秋閣」奥の遊歩道を特別に開放します。三重塔を遠望する遊歩道から古建築と新緑が織りなす、この季節だけの絶景をお楽しみください。

日程 | 4 月 12 日(土)～5 月 11 日(日)

時間 | 9：00～16：30

料金 | 無料（入園料別途）

会場 | 聴秋閣付近



■新緑の自然観察会

三溪園ボランティアが豊かな自然が息づく園内をご案内します。普段は見過ごしがちな小さな植物にも目を向けながら、さまざまな動植物との出会いをお楽しみください。

日程 | 5 月 10 日(土)

時間 | 10：30～／13：30～

料金 | 無料（入園料別途）

定員 | 各回 30 名

申込 | 不要。当日、正門入口にお越しください。



■お囃子

地元・本牧地域で活躍するお囃子グループ「横濱本牧囃子連」による公演をおこないます。威勢の良い演奏と併せて獅子舞などの演舞もお楽しみいただけます。

日程 | 4 月 29 日（火・祝）

時間 | 11：00～／13：30～

料金 | 無料（入園料別途）

会場 | 外苑 中央広場 *雨天時は旧燈明時本堂内

協力 | 横濱本牧囃子連



■^{いちじつあん}春の一日庵茶会

「どなたでも気軽にご参加いただける茶会」をコンセプトに三溪園ボランティアが開催している茶会です。園の創設者・原三溪の構想により建てられた「蓮華院」を会場に、和のひとときをお楽しみください。

日程 | 5 月 5 日(月・祝)

時間 | 10：00～／10：45～／11：30～／13：15～／14：00～／14：45～（各回 12 名、30 分入替制）

2025 年（令和 7）4 月 3 日

公益財団法人 三溪園保勝会

料金 | 1,000 円(税込、入園料別途、薄茶・和菓子付)

会場 | 蓮華院

申込 | 4 月 10 日(木)よりオンラインサービス Peatix にて販売開始

<https://sankeien-chakai-ichijitsuan-20250505.peatix.com>



写真はイメージです。

■第49回三溪園俳句展

1 年を通して園内の投句箱に寄せられた句（614句）から選ばれた優秀作品（28句）について、画家の広瀬美帆さんの挿絵を添えて展示します。併せて、著名俳人の句（短冊）も紹介します。

日程 | 4 月26日(土)～8月25日(月)

時間 | 9：00～17：00（最終入場16：30）

料金 | 無料（入園料別途）

会場 | 三溪記念館・第3展示室

主催 | 公益財団法人 三溪園保勝会

協力 | 横浜俳話会



三溪園について

三溪園は生糸貿易により財を成した実業家・原三溪によって創られ、1906 年（明治 39）5 月 1 日に一般公開されました。約 17.5ha（東京ドーム約 3.7 個分）に及ぶ園内には、廃仏毀釈などによる荒廃から守るため、京都や鎌倉などから移築された歴史的価値の高い建造物が巧みに配置されており、古建築と自然が調和した四季折々の景色が楽しめる日本庭園です。開園当初は「遊覧御随意」を掲げ外苑を 24 時間無料開放するなど、「美しいものはみんなで一緒に楽しむもの」という原三溪の想いが反映されています。原三溪の存命中は新進芸術家の育成と支援の場ともなり、横山大観、下村観山、前田青邨らを輩出するなど、日本美術への貢献も評価されています。戦災により大きな被害をうけ、1953 年（昭和 28）に原家から横浜市に譲渡されるのを機に財団法人三溪園保勝会が設立され、現在に至ります。2007 年（平成 19）には国の名勝に指定され、現在園内にある 17 棟の古建築のうち 10 棟が重要文化財、3 棟が横浜市指定有形文化財に指定されています。

施設概要

施設名	三溪園(さんけいえん)
運営	公益財団法人三溪園保勝会
所在地	〒231-0824 神奈川県横浜市中区本牧三之谷 58-1
連絡先	TEL 045-621-0635
公式 HP	https://www.sankeien.or.jp
Instagram	https://www.instagram.com/sankeien_garden
X	https://twitter.com/HSankeien
入園料	大人 900 円／小中学生 200 円 横浜市内在住の 65 歳以上 700 円(公的証明書の提示が必要)
開園時間	9：00～17：00(最終入園 16：30)



2025 年（令和 7）4 月 3 日
公益財団法人 三溪園保勝会

アクセス JR 根岸線根岸駅から市営バスで 10 分「本牧」下車、徒歩 10 分
横浜駅東口から市営バスで 40 分「三溪園入口」下車、徒歩 5 分

本リリースに関する報道関係者からのお問合せ

公益財団法人三溪園保勝会 企画広報課 高橋・加藤・向井

TEL：045-621-0635 / FAX：045-621-6343

MAIL：websupport@sankeien.or.jp